

発行日

2024年12月1日

環境経営レポート

【レポートの対象期間 2023年10月 ～ 2024年9月 】

有限会社 木村工業



有限会社 木村工業
代表取締役社長
木村 清

《目次》

- | | |
|-----------------------|-----|
| 1. 環境経営方針 | P-1 |
| 2. 事業活動の規模 | P-2 |
| 3. E A 2 1 推進体制 | P-3 |
| 4. 環境経営目標とその実績 | P-4 |
| 5. 環境活動の取組計画と評価 | P-5 |
| 6. 環境関連法規制の遵守 | P-6 |
| 7. 代表者による全体の評価と見直し・指示 | P-6 |

1. 環境経営方針

〔基本理念〕

有限会社 木村工業は、かけがえのない地球を守ることが、人類共通の最重要課題のひとつと認識し全員参加で、地球環境に配慮した事業活動に努めます。

〔基本方針〕

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取り組みます。

1. 当社は、基本理念にのっとり、各製品製作の事業活動を行う中で、技術的・経済的な事情を考慮の上、顧客満足の上を目指し、環境に与える影響を低減するとともに、循環型社会の実現に努めます。
 - ①二酸化炭素排出量削減のため、使用電力削減・使用化石燃料削減・廃棄物の単純焼却の削減に努めます。
 - ②事業活動で発生する廃棄物は、発生を抑制するとともに再使用の向上に努めます。
 - ③限りある水は、使用量削減のため節水に努めます。
 - ④不良削減による高品質・低環境負荷な製品の供給に努めます。
2. 環境活動の継続的改善を推進するにあたり、環境目標・環境活動計画を策定し取り組みます。策定した目標・活動計画は定期的にあるいは必要に応じて見直します。
3. 事業活動において、環境に関わる法律・規制その他公的基準を遵守します。
4. 環境方針は、全社員に周知するとともに、環境教育を行い社員の環境に関する意識の向上を図ります。
5. 環境管理に関する情報は、社内外に公表し、地域社会とのコミュニケーションを図ります。
6. 独自技術・ノウハウの伝承と教育の充実を図り、若手人材採用に取り組みます。

制定日 2018年8月28日

改定日

有限会社 木村工業
代表取締役 木村 清

2. 事業活動の規模

1. 事業所及び代表者名

有限会社 木村工業
代表取締役社長 木村 清

2. 所在地

〒370-0422 群馬県太田市安養寺237-8

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 : 代表取締役社長 木村 清
環境管理責任者 : 取締役 専務 木村 範大
担当 : E A 2 1 事務局 橋本 正子
藤掛 美幸

TEL : 0276-40-7025

FAX : 0276-40-7035

4. 対象範囲

有限会社 木村工業 群馬工場 : 全組織及び全活動

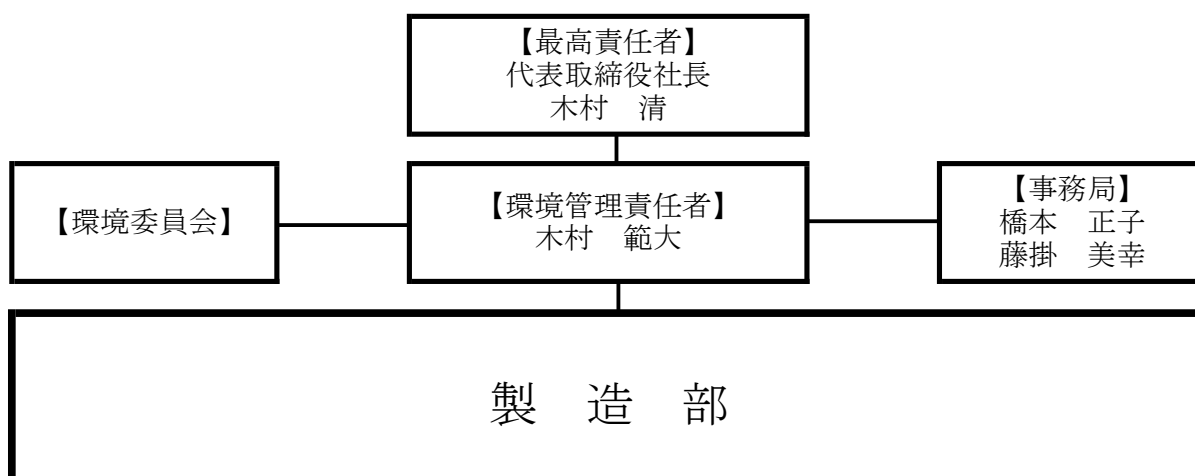
5. 事業の内容

製缶製品及び溶接構造物の製造・組立・塗装

6. 事業規模

活動規模	単位	2024年度
従業員数	人	14
延べ床面積	m ²	644

3. エコアクション21 推進組織図



職名	役割
最高責任者	【代表取締役 木村 清】 ①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。 ③環境方針を制定する。 ④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。
環境管理責任者	【木村 範大】 ①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 ②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
事務局	【橋本 正子・藤掛 美幸】 ①事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。
環境委員会	最高責任者・環境管理責任者・事務局・部門長で構成し、年2回環境管理責任者が召集する。環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。

4. 環境経営目標とその実績

1. 環境経営目標とその実績

※購入電力の排出係数は、 0.451 kg-CO₂/kWh(調整後)を使用。(東京電力エネルギーパートナー：2021年)

環境経営目標	基準値	今年度目標				中長期目標		
	2021年	2023年				2022年	2023年	2024年
	実績	目標	目標値	実績	目標の達成状況	目標		
売上高百万円当たりの二酸化炭素排出量の削減(kg-CO ₂ /百万円)	206.0	基準に対して 2.0%削減	201.9	233.6	基準に対して 13.4 % 増加	2021年の実績に対し 1.0%削減	2021年の実績に対し 2.0%削減	2021年の実績に対し 3.0%削減
売上高100万円当たりの廃棄物排出量の削減(kg/百万円)	4.52	基準に対して 2.0%削減	4.43	5.04	基準に対して 11.5 % 増加	2021年の実績に対し 1.0%削減	2021年の実績に対し 2.0%削減	2021年の実績に対し 3.0%削減
水使用量の削減(m ³ /百万円)	0.922	基準に対して 2.0%削減	0.904	0.790	基準に対して 14.3 % 削減	2021年の実績に対し 1.0%削減	2022年の実績に対し 2.0%削減	2022年の実績に対し 3.0%削減
化学物質管理の徹底	-	管理の徹底	-	管理の徹底	SDSに基づき管理をしている。	管理の徹底	管理の徹底	管理の徹底
本業に関する目標(不良削減)(単位：件)	9	7	7	7	達成した	8	7	6

※水使用量の削減については2022年から賃貸事務所から自社事務所に変更となり使用量が増加したことから、2023年以降は2022年実績を基準とした目標に変更した。

2. 主な環境負荷実績(総量)

環境への負荷	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	39,756	40,313	42,275	-
廃棄物排出量(kg)	872.0	872.0	912.0	-
水使用量 (m ³)	119.0	178.0	143.0	-

5. 環境活動計画の取組みと評価

2023年10月 ～ 2024年9月 の活動期間における取組みと評価をしています。

環境活動計画	環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組等
1. 二酸化炭素排出量の削減 ①空調温度適正化・表示 ②照明・PC電源不要時OFF推進 ③エアコン清掃の実施 ④エコドライブ推進 ⑤社用車の点検・整備 ⑥電力、ガソリン量の集計 ⑦効率的配送ルート等の検討	・目標値はかなり増加している為達成できていません。ガソリン・軽油使用量が増加した。 ・活動に関しては、エコ運転実施を行い、引き続き化石燃料の削減に努めたい。
2. 廃棄物排出量の削減 ①分別ルールの徹底 ②廃棄物置場の整備・整頓 ③廃棄物排出量の集計 ④裏紙使用ルールの徹底	・塗料洗浄回数を減らすことにより排シンナー量削減に努めた。 ・活動に関しては、廃棄物の分別の徹底を図る。 ・今後も廃棄物削減へ細かい点も注意して取り組みたい。
3. 水使用量の削減 ①毎月のメータ確認（漏水防止） ②節水表示 ③増量ノズルへの交換 ④トイレの節水	・こまめな節水に努めた。 ・引き続き小まめな節水に努める。
4. 化学物質取扱及び管理の徹底 ①取扱商品（化学物質含有）の把握 ②購入量、取扱量の把握 ③SDSの入手	・化学物質が含まれていると想定される溶剤等のSDSを入手し、含有量が把握できた。 ・溶剤等の購入量が把握できた。 ・次年度も安全に資する情報収集と管理の徹底を行う。
6. 本業に関する目標(不良削減) ①再発防止対策書作成 ②不良件数の掲示 ③手順の確認	・不良削減は当社の喫緊の課題であり、全員で取組み削減を目指す。 ・次年度も不良発生原因を追究し、削減に努め顧客信頼度向上を図る。

6. 環境関連法規制の遵守

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
騒音規制法	特定施設の届出	遵法
振動規制法	特定施設の届出	遵法
フロン排出抑制法	簡易定期点検実施	遵法

2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。
尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

7. 代表者による全体の評価と見直し・指示

評価と見直し、指示

経営と法遵守を両立させた環境改善活動を社員全員でお願いします。
節電化石燃料の削減が実績として現れてきた。今後とも継続と習慣化
を行う事により今以上に改善をお願いします。

環境経営方針・経営目標・経営計画・実施体制等の変更の必要性

現時点での変更の必要性はないと考えている。引き続き、しっかりと
した対応をお願いしたい。